

通 算 2647回
2011年2月18日
第30回例会
毎 週 金 曜 日

会報編集 牛島スミ子副委員長

2月 世界理解推進月間

国際ロータリー創立記念例会

点 鐘	中川貴夫会長
歌 唱	ソングリーダー 馬場貞至副委員長 国 歌 「君が代」 R. S 「それでこそロータリー」
司会・進行	井手富浩委員長

会長の時間

中川貴夫会長



先週、2月7日(月)第二回熊本第6分区会長・幹事会が、芦北町レストランよしみ2F例会場で行われました。川尻成美ガバナー補佐、芦北RC古賀会長・元山幹事、水俣RC市川会長・郷幹事、多良木RC小林幹事、人吉中央RC山口会長、人吉RCは私中川と渡辺幹事、以上9名で開催されました。

議題は、1. 地区大会出席状況について
2. 新幹線開通ロータリークラブ320km駅伝について
3. IMの日程と内容について
4. ガバナーノミニー選出について(2013-2014年度)打ち合わせが行われました。

1の地区大会登録人数は2月7日現在、芦北RC15名、水俣RC5名、人吉中央RC13名、多良木RC18名、人吉RC49名でした。2の新幹線開通ロータリークラブ320km駅伝について

は、3月6日(日)14:00に芦北役場に集合お願い致します。(別紙)3のIMは、5月21日(土)に芦北にてうたせ舟にて行い、3年未満ロータリアンは別舟にてガバナー達と勉強及び交流会を行いたい。4・ガバナーノミニー選出について(2013~2014年度)は、川尻ガバナー補佐より説明戴き、「正式な事として熊本県南RCより推薦戴きたい。第5分区、第7分区はいないので第6分区より推薦戴きたいとの申し出があり、『出来れば人吉RCより推薦戴きたい』との申し出がありました。私は、「お話として承りますが、クラブに持ち帰らせて戴き、正式な手続きを行い推薦できるかどうか、後日正式にお返事させて下さい。」とお話致しました。

皆さん、ガバナーに立候補される方がいらっしゃるでしょうか?今日、2月18日(金)から来週2月25日(金)まで待ち、いらっしゃるなければパスト会長会で推薦できる方がおられるか検討して戴く方法でよろしいでしょうか?3月上旬までに返事をしなければなりません。よろしくお願い致します。

今月は、世界理解月間ですので「RI創立記念卓話」をロータリー情報委員会高山パスト会長にお願い致しております。どうぞよろしくお願い致します。

前例会でお話しておりました、2010年手続要覧を会員の皆様にお渡しいたしますのでご利用をよろしくお願い致します。

2010-2011年度RIテーマは

「地域を育み、大陸をつなぐ」です。



幹事報告

渡辺洋文幹事

【連絡事項】

- ・国際ロータリー27290地区木下ガバナーより、奄美地方豪雨災害義捐金ご協力のお礼が届いております。
- ・地区大会実行委員長安藤様より、地区大会展示用週報送付のお願いが届いておりますので、送付しておきます。
- ・熊本西ロータリークラブ創立25周年記念式典・祝賀会の案内が届いております。
日 時：平成23年4月9日(土)
場 所：熊本ホテルキャッスル
- ・八代南ロータリークラブ創立35周年記念式典のご案内が届いております。
日 時：平成23年4月3日(日)
記念公演：八代ハーモニーホール
記念式典：八代グランドホテル

【例会変更】

熊本西RC3/8→19:00～夜の例会に変更
八代南RC3/15→取り止め

【本日の回覧】

八代南RC週報 八代RC報
熊本水前寺RC週報
人吉総合病院広報誌「翔」

【本日の配布】

2010年手続用覧 ロータリーの友2月号
ガバナー月信No.8

Multiple 3 PaulHarris Fellow 小林清市会員



ロータリー財団の寄付累計が4000\$になられた小林清市会員へロータリー財団より感謝の言葉とマルチプル3・ポール・ハリス・フェローのラペルピンが届きました。

国際ロータリー第2720地区 2011～2012年度 地区委員 委嘱状伝達式

国際ロータリー第2720地区本田光曠ガバナーエレクトより中川貴夫会員へ「地区リーダーシップ委員会委員」の委嘱状が届きましたので次期ガバナー補佐の中島博之会員より伝達して頂きました。



会務報告

【ローターアクト委員会】

丸尾 孜委員

本日欠席の立山アクト委員長よりお知らせを預かりましたのでお伝え致します。

人吉ローターアクト35周年の行事も終わらないのに6月のアクト地区研修会の指導の為、2720地区より3人のアクト幹部の方が人吉にお見えになりました。研修会の前には4月にリーダー研修というのが人吉であり、実際に会場を見ての打合せもやるそうです。

研修会当日は木下ガバナーはじめ、ガバナーエレクトなどロータリーの地区役員8名もお見えになるとのことです。

研修会は6月18日(土)、19日(日)の両日です。18日夜に懇親会、19日が研修会と卒業式となります。人吉ローターアクトクラブからも、若松利枝さんと赤尾理代さんの2名が卒業します。皆様のご参加の程、宜しく願い申し上げます。

出席率報告

永江 浩 委員

1/28例会出席率	81.16%
補 填 数	12名
修正出席率	98.55%

*メイクアップ

人吉RAC例会；中島・立山・丸尾・齊藤・本田
熊本水前寺公園RC創立10周年記念式典；中川・渡辺
中島・宮原・伊久美・山賀・葉山

本日の出席率

会 員 数	71名	78.26%	
出席免除	3名	2/4例会出席率	79.71%
欠席者数	15名	補 填 数	3名
出席者数	54名	修正出席率	84.05%

*届け出欠席者

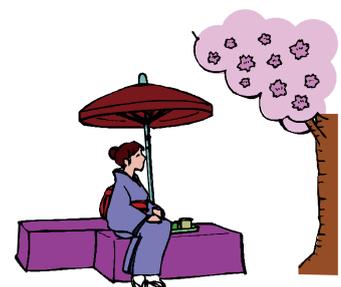
岩井・有村・立山・石原・青木・本田・和田・愛甲英
永尾・木村・大久保・北・蓑田・田上・山本

*出席免除会員

(a) 石蔵, (b) 増田, 愛甲康,

*メイクアップ

熊本水前寺公園RC創立10周年記念式典；片岡
芦北RC（会長・幹事会）；中川・渡辺



【雑誌委員会】

ロータリーの友2月号の紹介



紹介者 漆野智康委員

ロータリーの友2月号の紹介をさせていただきます。

まずは横組みからのご紹介です。表紙は、「知床の海の流氷」水越武氏の写真です。波打ち際に押し寄せる大波が、溶け始めて浮遊する流氷にぶち当たって水しぶきをあげている光景です。私は中学生の時、天草に住んでおり、よく冬の海を見ておりました。天草の内海でも海が荒れ、力強さとともに、さみしさも感じていました。知床の流氷は、アムール河の上流の栄養分をオホーツク海に運んで豊富な魚類を提供してくれているそうです。

1ページには、レイ・クリンギンスミスRI会長のメッセージとして、ロータリーのDNAについて書かれています。RIの「長期計画」の中で中核となる価値観をDNAと呼び「親睦」「奉仕」「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」の5つをあげられています。

5ページから12ページまで、海外クラブの例会に出席しましたという記事が紹介されています。日本のロータリアンの方が8か国のクラブに出席されていますが、国(クラブ?)により服装、食事の内容、点鐘の有無がまちまちで、面白いなと感じました。特に点鐘の有無に関してですが、点鐘というのは例会の開始時と終了時には必ずならされるものとばかり思っていました。世界には点鐘がないクラブもあるようです。そういえば点鐘の意味も深くは考えていなかったと思います。ネット等で調べてみましたが、よくわかりませんでしたので後で教えていただけたら有難いと思います。

28ページ、2月はこんなことがありました。ロータリーの誕生日のことが書かれています。1905年2月23日、今から106年前の事です。ロータリーの生い立ちに関しては、みなさんよく御存じだと思います。4人で始めた活動が100年以上の時をこえ、今や200以上の国と地域に120万人のロータリアンを擁する組織となり、ロータリアンの家族もいれるとその何倍かの人数になるとは思います。前にお話ししましたDNAが受け継がれていることにロマンを感じました。私もまだロータリー歴は浅いですが、勉強してロータリーを創設された4人が想いはせていたことを引きついでいけたら

と思います。

40ページには、ロータリー入門GLOBALOUTLOOKの中で、ブランドの構築という記事が載っています。ロータリーをどのように一般の方に知ってもらおうかが書かれています。

ブランド構築はロータリアンとともに始めると書かれており、その中にロータリーバッジを必ず着けることとありました。新入会員の勉強会の中でもバッジをつけることの大切さを教えていただきましたので、せめて例会中だけでもバッジをつけようと思います。

次に縦組みのご紹介に移らせていただきます。表紙は「八ヶ岳主峰赤岳の朝焼け」白籟史郎氏の写真です。長野県東部と山梨県北部にまたがる火山群を八ヶ岳と呼ぶそうですが2200メートル級の山岳が南北に20キロメートル以上山列をなしているそうです。

2ページからは、「有田の伝統を語る」として第14代酒井田柿右衛門さんのインタビュー記事があります。その中で柿右衛門さんは、「伝統の踏襲」を語られていました。今まで私は、職人さんというのは伝統を守りながら新しいものを作り出していくことだと思っていました。私が読んだ限りでは逆に思いました。

7ページからは、この人この仕事で大宮北ロータリークラブの染谷庄一郎氏の紹介がされています。埼玉県で漬物店を営まれているロータリアンです。漬物という伝統文化を守るため日々奔走されています。「漬物は野菜を保存するためのその土地ならではの技術であり、伝統と風習が育んだ文化である」と話をされています。時代に翻弄されながらもいろいろと勉強され先代の「時代に合った商いに徹しろ」との言葉を守り新たな工夫に挑戦されているそうです。

14ページの言いたい聞きたいのコーナーで、初心忘るべからずという見出しが目につきました。職業奉仕について書かれています。ですが、自分の仕事についても、10数年前初めて社会人として就職をしたときの気持ちどれだけ実践できているかと考えました。あの時はこういう社会人になりたいと思っていたことがあったはずなのですが、自分自身の甘えや日頃の忙しさにかまけなにもやっていないと反省させられました。もう一度、思い出して職業奉仕についてじっくり考えてみたいと思います。

18ページからの友愛の広場では、新潟東クラブのクラブとして50週連続100%出席達成記事と、入会以来50年累積出席100%表彰の方の記事が並んでいます。当クラブにも40年出席

率100%を誇られる高嶋会員がいらっしゃると思います。ただただ敬意の気持ちでいっぱいです。

今月号は、文化、歴史、伝統を強く思わせられたロータリーの友でした。まだまだ興味深い記事がたくさんありましたので、是非お読みください。

以上で今月号のご紹介を終わります。

【ロータリー情報委員会】

国際ロータリー創立記念卓話

高山征治パスト会長



皆様こんにちは。ロータリー情報委員会の高山です。本日は「国際ロータリー創立記念例会」です。片岡ロータリー情報委員長から卓話依頼の連絡がありまして、情報委員として初めての役割となりました。

これより国際ロータリー創立記念卓話をさせていただきます。

2月23日は国際ロータリー創立記念日で、1905年にシカゴでポールハリスが3人の友人と第1回の会合を開いた日です。そのため2月は世界理解月間と定められています。

「ロータリーとは人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ、世界における親善と平和の確立に寄付することを旨とした実業人及び専門職業人が世界的に結び合った団体である」

※この文言が、1976～1977年度国際理事会で採択されたロータリーの定義であります。

ロータリーの綱領（目的）は、一つです。

会員の事業の根底に奉仕の精神をしっかりとたたき込むことである。そしてその為に各ロータリアンは次のような事を心がけるべきである。

第1に、知り合いを広めて奉仕の輪を広げること。

第2に、商業道徳と専門職の職業倫理を高めること。すべての有用な職業は尊重されるべきこと。そしてロータリアンはそれぞれ職業を通じて社会に奉仕するため、その職業の品位を保つこと。

第3に、ロータリアンがそれぞれ個人的生活、職業生活、社会生活の全てにおいて、いつも「奉仕の理想」（奉仕という理念）を適用すること。

第4に、ロータリアンの世界的な親交によって国際理解、国際親善、国際平和を推進すること。

以上のことから、ロータリークラブは単なる社交団体、親睦団体でないこと、又、単なる慈善団体、寄付団体でないことがわかります。

ロータリーは人生哲学であると言われる。それは例会でよく歌われるロータリーソングの題名にもなっている「奉仕の理想」という言葉に凝縮されています。奉仕の理想とは何でしょうか？これ一つにしてもきちんと勉強しないとよくわかりません。奉仕の理想とは人や社会のニーズをよく汲み取って、そのニーズを理想的な形で満たすことです。そしてこれを生活の場すべてに適用して行くように努力しようということです。これがロータリーの目的であって綱領として謳われていることです。そしてここから四大奉仕の全てが導かれて来ます。ロータリーでは親睦が重視されていますが、これはあくまでも奉仕活動がより良く行われるためであり、親睦と奉仕は切り離すことができません。また共に行う奉仕活動が親睦をさらに深めることが含まれています。これを支えるのが職業分類制度です。職業分類制度によって会員はクラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負うと同時に、ロータリアン以外の人に対しては日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うこととなります。

つぎにロータリーのモットーに行ってみましょう。

「もっとも良く奉仕する者、もっとも良く報いられる」という有名なものですが、これはA. F. Sheldonが成功している企業を研究して、導きだしたものです。常に他人の立場を考えて他人のためになるように尽くすサービスを実践している者が成功を収めるというもので、ここから職業は社会に奉仕する手段であるという考え方が出て来ます。

もう一つのモットー。「超我の奉仕」です。これも同じような意味を持っていますが、より広く社会奉仕や国際奉仕に繋がって行くものです。

ロータリーはこのような人生や職業に関する基本的な考え方や態度について指針を与えてくれるものです。

ロータリーのこれから

新RI長期計画（2010-13年度）

国際ロータリー（RI）は、2002-03年度から長期計画委員会を発足させ、2004-05年度の規定審議会の議決を得て、2007年6月にRI理事会は「国際ロータリーの使命」「国際

ロータリーのビジョン」、「標語」、「中核となる価値観」ならびに具体的な実践目標である「7つの優先項目」を承認しました。

この度、2009年9月に長期計画委員会は、規定審議会によって委任された通りRI長期計画の見直しを行いました。

2009年11月、RI理事会は修正を加えた国際ロータリーの長期計画を採択しました。この長期計画は、強力なクラブ、効果的な奉仕、認知されるブランドという3つの基本要素の推進に焦点を当てています。2010年7月1日から有効となる新計画では、優先項目が7項目から3つの大きな重点項目になっていますが、各項目には具体的に測定可能な活動目標が挙げられており、これらの活動目標には前の長期計画の殆どの要素が含まれています。活動項目は必要に応じて修正が可能です。

国際ロータリーの使命

「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職種及び地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」

国際ロータリーの使命は、従来の使命と本質的には変わりません。中核となる価値観にならって、高い倫理的基準が「高潔性」に変わりました。

国際ロータリーのビジョン

「私たちは、全世界社会に於ける人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織である」

国際ロータリーのビジョンは、大きくて、より良い、大胆な夢をもとう！という理念から再検討されました。ロータリーを魅力あるものにしよう！活力的で、適切な奉仕をするクラブの活動が、地域社会や国際社会において認められるようにしよう！という願いからです。

標語

「超我の奉仕」

中核となる価値観

「中核となる価値観」は従来と変わりません。ロータリー100年の歴史に培われたロータリーの「中核となる価値観」は非常に重要なものです。長期計画委員会が提案し、RI理事会が承認した「中核となる価値観」は、ロータリーにおいて、それぞれのロータリアンが、何を優先させ、どのような行動をするかという基本的指針に基づいたロータリー活動の指導原理を表すものです。

奉仕 (Service)

奉仕はロータリー活動の本体をなすもの

で、最も重要な基盤となるものです。私たちは初期シカゴロータリークラブの会員であるドナルド・カーターが奉仕活動を提唱し、アーサー・シェルドン、ベンジャミン・フランク・コリンズなど、ロータリーの先人たちが奉仕の理念を提唱して以来、100年にわたって各種の奉仕活動を続けてきましたが、これからは、その伝統を継続し、「超我の奉仕」を奉仕の理念として地域のニーズに応じて、現代社会の変化に適応できる機能的な奉仕活動を行い、地域社会や国際社会の中で信頼される、魅力ある奉仕を継続していく必要があります。

親睦 (Fellowship)

親睦は、奉仕活動とともにロータリー活動の中心をなすものです。親睦はロータリーの奉仕の理想に基づいて、人と人との心の触れ合いを実践するものです。

このような実践活動は無限であり、私たちの人格を向上させ、人生を豊かにし、視野を広げていくものです。ロータリー活動は、人を愛し、人と触れ合い、人を育てることを目的にした人道的奉仕活動です。

多様性 (Diversity)

私たちは、会員組織や奉仕活動など、あらゆる分野で多様性を尊重しています。

例えば、国、地域、文化、信条、言語、性別、生活習慣などの違いを認め、尊重し合った多種多様な活動を展開しています。ロータリーは多様性のある活動があればこそ、奉仕の理想のもとに、世界的にすべての人々を結集させることができるのです。RI理事会はロータリーにおける多様性の重要性を尊重して2003年に「多様性に関する声明」を発表し、特に、ロータリーの特徴である職業奉仕や会員増強・維持に関する多様性の認識は非常に重要であるとしています。

高潔性 (Integrity)

私たちロータリアンは、職業奉仕をはじめ、あらゆる奉仕活動および人間関係において、道徳性や倫理性のある高い立場を保って行動しています。

私たちは、「四つのテスト」に示されているように、誠実、信頼、善意、正直、公平、寛容、友情などを保持し、それを高めるよう行動すべきです。この高潔性こそ、私たちロータリアンが最も大切にすべきものと考えます。

リーダーシップ (Leadership)

ロータリーにおけるリーダーシップは、ロータリーの発展のために、現在、最も求められているものです。いかなる組織や団体で

も優れた指導力が必要なことは言うまでもありませんが、ロータリーは、それぞれの分野で強力な指導力をもつリーダーの集まりです。私たちは、ロータリアンのもつ優れた資質と能力をさらに発展させて、クラブだけでなく周囲の地域社会や国際社会、あるいは次世代の青少年活動などにも指導力を発揮すべきでしょう。

新しい2010-13年度の優先項目

2007年6月、RI理事会が承認した7項目の「ポリオを撲滅する」「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」「他者に奉仕するロータリーの力の増大を図る」「量的にも質的にも会員組織を世界的に拡大する」「ロータリー独自の職業奉仕への取り組みを強調する」「ロータリー組織内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する」でした。

しかし2009年7～8月、3年ごとの調査結果を検討した結果、新しい活動目標を3つの重点項目に分けて、それぞれの中に機能的で柔軟性のある、具体的な活動目標を位置づけることになりました。

新長期計画は2009年11月にRI理事会で承認されたもので、2010年7月1日から発効しています。

＜クラブのサポートと強化＞

1. クラブの刷新性と、柔軟性を育てる
2. 四大奉仕部門の全部門における調和のとれた活動を行う
3. 多様性を増進する
4. 会員の勧誘と維持を改善する
5. リーダーを育成する
6. ロータリーを発展させる
7. クラブと地区に於ける長期計画の立案を奨励する

＜人道的奉仕の強化＞

1. ポリオを撲滅する
2. 以下の分野における奉仕の持続性を高める
 - 青少年と青年のプログラム
 - ロータリー財団の6つの重点分野
3. 他組織との協力関係を拡大する
4. 地元や海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

＜公共イメージと認知度の向上＞

1. イメージとブランド認知を調和させる
2. 行動と主体とした奉仕をPRする
3. 中核となる価値観を推進する
4. 職業奉仕の理想を強調する
5. クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について

て周知を図るようクラブに奨励する

特に、新しい活動の焦点は、「将来へ向けもっと大きな夢をもとう」ということであり、そのためには地区やクラブの活性化と柔軟性が、特に強調されています。

新長期計画は重点項目を3つの大きなグループに分けていますが、それぞれの重点項目の中に多くの実践目標が示されています。これらの目標は、いずれもロータリーとして最も重要で具体的な活動目標です。

もちろん、国際ロータリーの新長期計画は、ロータリー財団の未来の夢計画、または、ロータリーの管理運営の効率化と一体のもので、相互に連携しながら将来への活動を継続していくことになっています。

私たちは今、ロータリー100年を過ぎた時点で、あらためてクラブ活動が原点であることを認識して、クラブの活性化を推進しようとしています。

地区やクラブなど、すべてのレベルでの活動を柔軟に進展させて、ロータリーの発展を期待したいと思います。

新長期計画を指針として各クラブが活動しているわけですが、我が人吉ロータリークラブは計画の先に行く活動を立派にやっているように私は思います。これは皆さんが先程から述べてきました“ロータリーの原点”をよく理解され、実践され、勉強されている結果と考えます。これからもこの伝統を守り、継承していき、人吉ロータリークラブが名門クラブとして立派に運営されてゆくことを記念してRI創立記念の卓話とさせていただきます。



- 【ニコニコ箱委員会】 水野虎彦委員長
- ・中川会長 RI創立記念卓話、高山パスト会長ありがとうございました。小林パスト会長、マルチプル・ポール・ハリス・フェローおめでとうございます。 2,000
 - ・齊藤会員 都合で早引きします。申し訳ありません。 1,000
 - ・友永会員 早退します。 2,000
 - ・RI創立記念全員マイル 他会員68名 68,000
- ニコニコ・ごめんねカード2/18合計73,000